

現場のルール順守

佐藤渡辺

佐藤渡辺の石井直孝社長は、富山県小矢部市芹川地先で、「R4・5小矢部地区舗装その2工事」（発注者＝国土交通省北陸地方整備局富山河川国道事務所）の現場で安全パトロールを実施した。写真。石井社長のほか、堂尻伸二安全環境部長、中日本支店の宮内友孝支店長と小刀禰豊安全環境部長、北陸支店の高畑一幸支店長と林秀一技術顧問、砺波営業所の田村健所長が参加した。パトロールは、年度末労働災害予防強化期間の取り組みの一環となる。



巡視した石井社長は「第三者事故を防止するため、現場内を整理整頓して飛散による事故を防止するように。新規入場者教育も実施して現場のルールを皆で順守し、事故防止に努めてほしい」と呼び掛けた。

宮内中日本支店長は「昼夜間の現道規制であり、一般通行車両や歩行者の目線で保安施設や歩行者通行帯の保守点検を確実に実施しよう」、高畑北陸支店長は「現場は4車化に向けて繁忙期に突入している。安全に対する意識を高めて無事故・無災害で工事を完成させること」と述べた。

同工事は、小矢部市区間の交通渋滞の緩和と渋滞に起因する事故防止を目的とした交通安全対策事

業の一環で、道路土工・地盤改良工などにより、付加車線をつくるもの。

